

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 駒沢女子短期大学 |
| 設置者名 | 学校法人 駒澤学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | | | | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|--|-----|-----------|-----------------------|---------------------|----------|----|-------------|------|
| | | | 全学 共通 科目 | 学部 等 共通 科目 | 専門 科目 | 合計 | | |
| | 保育科 | | | 6 | 22 | 28 | 7 | |
| (備考) 本年度は移行期初年度のため、新課程と旧課程が混在している。上記専門科目の中に、新課程「特別な支援を要する子どもの理解と援助Ⅰ」(1単位)旧課程「特別支援教育Ⅱ」(1単位)が含まれる。 | | | | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| https://www.komajo.ac.jp/uni/kouhyou/pdf/2_2/2-2work_pre.pdf |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学部等

| |
|----------------|
| 学部等名 該当なし |
| (困難である理由) 該当なし |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 駒沢女子短期大学 |
| 設置者名 | 学校法人 駒澤学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.komajo.ac.jp/data/pdf/kihon-data_2019_03.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|----------|------------|----------------------------------|-----------------|
| 非常勤 | 清巖寺住職 | 2019年6月1日～ 2022年5月31日 (3年) | 組織運営体制へのチェック機能 |
| 非常勤 | 永平寺東京別院監院 | 2019年6月1日～ 2022年5月31日 (3年) | 組織運営体制へのチェック機能 |
| 非常勤 | 永平寺監院 | 2019年6月1日～ 2022年5月31日 (3年) | 組織運営体制へのチェック機能 |
| 非常勤 | 天寧寺住職 | 2019年6月1日～ 2022年5月31日 (3年) | 組織運営体制へのチェック機能 |
| 非常勤 | 元理事長・不動寺住職 | 2019年6月1日～ 2022年5月31日 (3年) | 組織運営体制へのチェック機能 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 駒沢女子短期大学 |
| 設置者名 | 学校法人 駒澤学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>授業計画(シラバス)記載項目</u>：①研究室、②オフィスアワー、③科目分類(実務教員が担当する授業はここに(J)が付される)、④授業区分、⑤授業のテーマ・内容、⑥到達目標、⑦授業開始前学習、⑧各回の授業内容と課題学習(予習・復習)、⑨テキスト・教材、⑩参考書、⑪卒業時に身につけておかなければならない4つの力との関連度(学修指針と科目との関連度合いを0～4で表示)、⑫授業内課題のフィードバック方法、⑬評価の基準と方法(具体的な評価方法及び配分基準等)、⑭関連科目、⑮その他。 ● <u>授業計画の作成過程</u>：①担当教員(複数教員担当の場合は代表者)がシラバス案を作成する(年末～年初)。②学科の教務委員の教員が内容の適否を審査する。③不適の場合、再度担当教員に修正を依頼する。④年度末(3月頃)に公表する。 ● <u>授業計画の公表方法について</u>：大学ホームページ上で公表している(大学案内>教育情報の公表>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画>授業の方法及び内容並びに一年間のシラバス) | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.komajo.ac.jp/uni/kouhyou/kouhyou2_2.html |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施</u>：本学は、ディプロマ・ポリシーを設定したうえで、4つの学修指針(人間力、遊び力、表現力、思考力)にもとづき、当該科目の評価基準を定め(シラバスに記載)、それをもとに成績評価を実施し単位を与えている。成績評価の方法は、試験、レポート、プレゼンテーション、授業内で行われる確認テスト等、科目、担当者により異なる。 ● <u>学修成果の厳格かつ適正な評価の実施</u>：本学は、駒沢女子短期大学アセスメント・ポリシーを策定している。そこに「DPに掲げる能力(人間力、遊び力、表現力、思考力)の到達目標を測るために、学生は2年次後期の保育教育実践演習の授業内でGPAを確認し、自己評価を行い、また、担当教員は学生の自己評価結果を確認することで、教員、学生双方が学修状況を把握する体制を整えている。 | |

| | |
|---|---|
| <p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>G P A等の客観的な指標の具体的な内容</u>：本学は、5段階成績評価による科目の成績を以下のように数値化している。①秀=90～100点 (Grade Point 4)、②優=80～89点 (Grade Point 3)、③良=70～79点 (Grade Point 2)、④可=60～69点 (Grade Point 1)、⑤不可=59～0点 (Grade Point 0)、定期試験欠席 (Grade Point 0)、出席不足 (Grade Point 0)。これらは、履修ガイドで公表している。計算式は、以下の通りである。 $\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{秀の修得単位数} + 3 \times \text{優の修得単位数} + 2 \times \text{良の修得単位数} + 1 \times \text{可の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}}$ ● <u>客観的な指標の適切な実施状況</u>：本学は、全授業において成績評価入力を行う際、入力終了後に確認のG P Aの数値の分布を確認できるシステムになっている。成績の極端な偏りをチェック後、成績入力終了が可能なため、G P Aの極端な逸脱が無いよう、成績の客観性、平等性を確保している。 | |
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/study-guide.html 【履修ガイド】保育科 P31～32 参照 |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>卒業の認定に関する方針の具体的な内容</u>：本学は、教育の理念（知性と理性を備えた心豊かな女性の育成）に基づき、以下のような資質・能力の養成を教育目標（ディプロマ・ポリシー）として掲げ、これに基づき編成された2年間の課程を学修し、卒業に要する所定の単位を修得することを学位授与の要件としている。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 真理の追及に努め、柔軟に判断・解決する多角的視点と創造的思考力 (2) 子どもをはじめ人々のもつ想・奏・創の限らない表現に気づく視点（感覚）とそれを広げる専門的技術、また自らもこれらを豊かに表現する力 (3) 「子どもの遊び」の本質を理解し、その世界を共有しながら、子どもとともに自らも楽しむ (4) 多様な価値観をありのまま認め、受け入れる心と他者を思いやり協働する力 ● <u>卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</u>：本学のカリキュラム・ポリシーで定められた評価方法を使い、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力が達成されているか否かを判定するとともに、学則で定められた卒業要件を満たしているか否かを教授会で確認している。 | |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy_jc.html |

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

| | |
|------|-----------|
| 学校名 | 駒沢女子短期大学 |
| 設置者名 | 学校法人 駒澤学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.komajo.ac.jp/data/index.html |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.komajo.ac.jp/data/index.html |
| 財産目録 | https://www.komajo.ac.jp/data/index.html |
| 事業報告書 | https://www.komajo.ac.jp/data/index.html |
| 監事による監査報告(書) | https://www.komajo.ac.jp/data/index.html |

2. 事業計画(任意記載事項)

| |
|---|
| 単年度計画(名称:2019年度 行動計画 対象年度:2019) |
| 公表方法: https://www.komajo.ac.jp/data/torikumi.html |
| 中長期計画(名称:学校法人駒澤学園中長期計画 第2次中期計画 対象年度:2019-2023) |
| 公表方法: https://www.komajo.ac.jp/data/torikumi.html |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

| |
|--|
| 公表方法: https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/houkoku_02.pdf |
|--|

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

| |
|--|
| 公表方法: https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/characteristic/daisanshahyoka.html |
|--|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

| |
|--|
| 学部等名 保育科 |
| 教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/mission_jc.html) (概要) 本学保育科は、人間力・遊び力・表現力・思考力を柱とした保育・教育、福祉の専門性を身に付け、未来を切り拓く力をもった総合的人間力の高い人材を育成することを目的とする。 |
| 卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy_jc.html) (概要) 本学保育科では、教育の目的に則して編成された 2 年間の課程を学修し、卒業に要する所定の単位を修得することを学位授与の要件としている。カリキュラム・ポリシーで定められた評価方法を使い、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力が達成されているか否かを判定するとともに、学則で定められた卒業要件を満たしているか否かを教授会で確認している。 |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy_jc.html) (概要) 本学保育科は、「基礎科目」「専門教育科目」の枠を設け、ディプロマ・ポリシーに掲げている 4 つの教育目標 (①思考力、②表現力、③遊び力、④人間力) を達成するために必要なカリキュラムと教育方法を用意している。特に、「子どもの遊び」を支えることができる保育者、また、子どもをはじめとした人々の表現を支える感受性や表現力をもった保育者を養成するカリキュラムを編成し、身体・音楽・造形に関する表現系科目を充実させている。 |
| 入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/admission-policy_jc.html) (概要) 駒沢女子短期大学では、建学の精神を理解し、基礎学力を有し、知的好奇心をもった勉学意欲に富み、「資格を取得したい」「資格を活かして保育職に就きたい」という夢を持つ次のような人を求めている。 1. 入学後の学修に必要な基礎学力 (とくに国語力) を有している人。 2. 基本的な生活習慣が身についている人。 3. 自分の長所や短所に気づき、それらを生かしていきたいという思いを有している人 (自己覚知・メタ認知的思考)。 4. 自分の考えや気持ちを自分らしい方法で伝えようとする意欲を有している人 (表現力)。 5. 子どもや人、自然と触れ合うことに興味・関心があり、専門的知識をもって理解を深めたいと思っている人。 6. 何かに打ち込んだことがある、もしくは、打ち込みたいと思う人。 7. 子どもとかかわる仕事に就く意欲のある人。 |

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/organization.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者） | | | | | | | |
|--|--------|--|-----|----|----|-----------|-----|
| 学部等の組織の名称 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 その他 | 計 |
| — | 人 | — | | | | | 人 |
| 保育科 | — | 6人 | 2人 | 6人 | 0人 | 1人 | 15人 |
| b. 教員数（兼務者） | | | | | | | |
| 学長・副学長 | | 学長・副学長以外の教員 | | | | | 計 |
| 1人 | | 15人 | | | | | 16人 |
| 各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等） | | 公表方法： https://www.koma.jo.ac.jp/uni/kouhyou/kouhyou1_2_4.html | | | | | |
| c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項） | | | | | | | |
| <p>1. 実施体制</p> <p>本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「FD委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。</p> <p>①授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼</p> <p>②学内公開授業の運営</p> <p>③ファカルティ・ディベロップメントの実施</p> <p>④教育研究業績記録の作成</p> <p>本委員会は、教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。</p> <p>2. 実施状況</p> <p>具体的な実施状況は以下のとおりである。</p> <p>①学内公開授業</p> <p>本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員及び兼任・兼任教員の学内授業公開期間を設けている。参観者（教職員）は、見学した授業に対する報告書を記名した上、提出する。</p> <p>②ファカルティ・ディベロップメント</p> <p>本学では、教職員を対象としたFD研修会を、毎年2回実施している。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付けている。報告書は教育研究支援課に提出され、記録を保管している。</p> <p>③教育研究業績記録の作成</p> <p>本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年度更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育研究内容の見直しを図るための一助として活用するとともに、ホームページにも教育研究業績の概要を公表している。</p> <p>④学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>本学では、前期と後期の終わりに各1回、基本的に全授業において授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を全専任教員、および兼任・兼任教員全員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う5項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う8項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。なお、授業アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開しており、随時閲覧が可能である。</p> | | | | | | | |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

| 学部等名 | 入学定員 (a) | 入学者数 (b) | b/a | 収容定員 (c) | 在学生数 (d) | d/c | 編入学 定員 | 編入学 者数 |
|------|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|-----|-----------|-----------|
| 保育科 | 130人 | 94人 | 72% | 260人 | 202人 | 77% | 人 | 人 |
| (備考) | | | | | | | | |

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

| 学部等名 | 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|--|----------------|--------------|-------------------|---------------|
| 保育科 | 128人 (100%) | 1人 (0.8%) | 116人 (90.6%) | 11人 (8.6%) |
| (主な進学先・就職先) (任意記載事項) 玉川大学教育学部、公益財団法人武蔵野市子ども協会 他 | | | | |
| (備考) | | | | |

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

| 学部等名 | 入学者数 | 修業年限期間内 卒業者数 | 留年者数 | 中途退学者数 | その他 |
|------|----------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| 保育科 | 135人 (100%) | 126人 (93.3%) | 4人 (3.0%) | 5人 (3.7%) | 0人 (0.0%) |
| (備考) | | | | | |

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

本学の授業科目は、基礎科目と専門教育科目で構成される。科目には必修、選択必修、選択の区別がある。それらは、前期あるいは後期のみで終了する半期科目で大多数を占めるが、前期及び後期を通して行われる通年科目、ある一定期間に集中して行う集中授業科目もある。

授業には、講義及び、演習・実習・実技の区分がある。講義科目は、30時間の授業、60時間の自習時間を合わせて2単位、演習・実習・実技科目は、30時間の授業、15時間の自習時間を合わせて1単位に換算している。

授業は、授業計画(シラバス)に基づき実施される。授業計画には、①研究室、②オフィスアワー、③科目分類(実務教員が担当する授業はここに(J)が付される)、④授業区分、⑤授業のテーマ・内容、⑥到達目標、⑦授業開始前学習、⑧各回の授業内容と課題学習(予習・復習)、⑨テキスト・教材、⑩参考書、⑪卒業時に身につけておかなければならない4つの力との関連度(学修指針と科目との関連度合いを0~4で表示)、⑫授業内課題のフィードバック方法、⑬評価の基準と方法(具体的な評価方法及び配分基準等)、⑭関連科目、⑮その他、以上の15項目が記されている。

シラバスは、①担当教員(複数教員担当の場合は代表者)がシラバス案を作成する(年末~年初)。②学科の教務委員の教員が内容の適否を審査する。③不適の場合、再度担当教員に修正を依頼する。④年度末(3月頃)に公表する、という過程を経て、公開されている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

本学は、全学ディプロマ・ポリシーを設定したうえで、4つの学修指針(思考力、表現力、遊び力、人間力)にもとづき、学修内容に沿って、担当教員は、当該科目の評価基準を定め(シラバスに記載)、それをもとに成績評価を実施し単位を与えている。成績評価の方法は、試験、レポート、授業内で行われる確認テスト、プレゼンテーション等、科目、担当者により異なる。また、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力(思考力、表現力、遊び力、人間力)の到達目標を測るために、学生はポートフォリオ等を用い自己評価を行い、また、担当教員は学生の自己評価結果を確認することで、教員、学生双方が学修状況を把握する体制を整えている。

成績評価の具体的な指標としてはGPAを用いる。GPAは、5段階成績評価による科目の成績を以下のように数値化し、計算式に基づき科目1単位あたりの平均点を求めたものである。

①秀=90~100点(Grade Point 4)

②優=80~89点(Grade Point 3)

③良=70~79点(Grade Point 2)

④可=60~69点(Grade Point 1)

⑤不可=59~0点(Grade Point 0)

⑥定期試験欠席(Grade Point 0)、出席不足(Grade Point 0)

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{秀の修得単位数} + 3 \times \text{有の修得単位数} + 2 \times \text{良の修得単位数} + 1 \times \text{可の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}}$$

卒業(学位授与)は、①教育目標(ディプロマ・ポリシー)に基づき編成された2年間の課程を学修し、卒業に要する所定の単位を修得していること、②2年以上在学していること、③所定の学費を完納していることを学則で定めている。

卒業要件の認定にあたっては、カリキュラム・ポリシーで定められた評価方法を使い、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力が達成されているか否かを判定するとともに、学則で定められた卒業要件を満たしているか否かを教授会で確認している。

| 学部名 | 学科名 | 卒業に必要となる 単位数 | G P A制度の採用 (任意記載事項) | 履修単位の登録上限 (任意記載事項) |
|----------------------------|-----|---|------------------------|-----------------------|
| | 保育科 | 64 単位 | ㊦・無 | 単位 |
| | | 単位 | 有・無 | 単位 |
| | | 単位 | 有・無 | 単位 |
| | | 単位 | 有・無 | 単位 |
| G P Aの活用状況 (任意記載事項) | | 公表方法： https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/study-guide.html 【履修ガイド】保育科 P32 参照 | | |
| 学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) | | 公表方法： | | |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.komajo.ac.jp/campusmap/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学部名 | 学科名 | 授業料 (年間) | 入学金 | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|-----|-----|-------------|-----------|-----------|-------------|
| | 保育科 | 816,000 円 | 300,000 円 | 266,000 円 | |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

| |
|--|
| <p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>担任制度とスチューデント・プロフィールの導入</u>：本学では、担任制度（社会人アドバイザー制度を含む）とスチューデント・プロフィールにより学生の情報を一元化し、学生一人一人に即した対応ができる体制を整えている。 ● <u>再指導・再試験制度</u>：本学は、特定の科目の定期試験不合格者に対し、再指導のうえ再試験を課す制度を採用している。単に再試験を課すだけでなく、どの部分が理解できていなかったのかを明らかにし、再指導の場で再度説明することにより、学修への意欲、理解度を高めている。 ● <u>学修支援センターの設置</u>：本学は、大学生としての学びをより効果的なものにするため「学修支援センター」を設置し、さまざまな学習プランや検定のための講座等を行うことで、学生の基礎教養力養成のサポートをしている。現在、国語、英語、化学、数学、生物の指導員が在中し、公務員試験（保育士）を受けるための基礎力養成等に力を入れている。 |
| <p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>保育者養成において伝統に基づいた一人ひとりの個性に応じた的確な支援で、希望の進路をバックアップしています。教員と進路総合センターとが連携しながら、学生一人ひとりの希望や活動状況を把握し、進路が決定するまでのすべてのプロセスを丁寧にサポートしています。学生支援課、学生相談室と密に情報を共有し、心身の健康等に係るポイントにも適切に対応できるよう努めています。</p> |
| <p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><学生相談室および保健室></p> <p>学生相談室および保健室は、学生の心身両面にわたる支援を行うため、緊密に連携している。</p> <p>学生相談室では、学生生活を送る中で生じるさまざまな悩みに対応するため、履修、将来、自分の性格や心理的問題、家族や友人との関係、恋愛問題等について、広く相談を受け付けている。また、4月の健康診断時に全学生を対象としたメンタルヘルスチェックを実施し、心身の健康に不安を持つ学生の早期発見・早期対応に努めている。専任スタッフとして公認心理師・臨床心理士資格を持つカウンセラー3名、および、大学院課程で心理支援のトレーニングを受けた受付担当者1名を配置し、その他にも各学科・学類の学生相談室担当教員が全面的にバックアップしている。学生相談室担当教員は、相談室の運営・企画に関わるだけでなく、大学生生活の各場面において学生のニーズに応じて柔軟に対応し、マネジメント機能を果たしている。相談内容によっては、学生相談室担当教員がその立場や専門性を活かして対応することもある。受付時間は土日、祝祭日を除く平日の午前9時30分から午後5時30分までである（相談時間は午前10時から午後5時）。学生相談室におけるカウンセリング利用は原則として予約制で、申込は学生相談室カウンターで受け付けている。</p> <p>保健室は、健康上のあらゆる相談、けがなどの応急処置、健康に関する情報提供を行っている。また、必要な場合には医療機関、その他の機関を紹介し、健康に過ごせる学生生活をサポートしている。看護師2名が月曜日から土曜日まで勤務し、開室時間は平日が午前9時から午後5時50分、土曜日が午前9時から午後4時となっている。</p> <p>両機関とも、学生に対して守秘義務を負うことは当然だが、相談内容によっては、学生の了解を得た上で、相互に、あるいは学生支援課その他の部署・他機関とも連携を図っている。</p> |

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/preschool/jruniversity.html>